

令和2年度
教育に関する事務の管理及び執行状況の
点検・評価報告書



田植え体験（出小）

令和3年3月
出雲崎町教育委員会

目 次

	頁
はじめに	1
I 総合教育会議	3
II 教育委員会の会議及び活動状況	4
III 学校教育	7
1. 出雲崎小学校	7
2. 出雲崎中学校	12
3. 学校支援地域本部事業	16
IV 社会教育事業の実施状況	20
1. 社会教育・公民館事業	20
2. 図書館事業	25
3. 社会体育事業	28
V 学校・社会教育施設の整備充実	33
VI 学識経験者からの総合評価	34
VII その他	35

はじめに

1 点検評価の公表

「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」第26条の規定により、教育委員会の権限に属する事務の管理及び執行状況等について、学識経験者を活用して、毎年教育委員会自らが点検・評価を行い、その結果を議会に報告するとともに、公表することが義務付けられている。

本報告書は、これに基づき効果的な教育行政の推進に資するとともに、町民への説明責任を果たすため、令和2年度の出雲崎町教育委員会の権限に属する事務の管理及び執行状況の点検・評価を行った結果を報告するものである。

2 学識経験者の知見の活用

令和2年度の点検・評価に当たっては、学識経験を有するものとして、元長岡市立東中学校長の佐藤忠弘氏（長岡市・旧三島町在住）から、第5次出雲崎町総合計画における教育関係の基本計画及び町教育計画をふまえて、本年度事業及び次年度に向けて助言・指導を得た。

3 報告書の内容から見られる評価

- (1) 教育委員については、今任期限りで村越委員、内山委員が退任され、新たに宮田委員、松岡委員が着任された。また柳津町の教育委員との研修を計画していたが、新型コロナウイルス感染症防止から中止としたが、来年度以降も委員の資質向上に向けた研修機会を設けていく。
- (2) 確かな学力向上に向けて小学校1・中学校1のメリットを生かすため児童・生徒主体の授業構成、振り返りを重点にしており、また発達段階に応じて学ぶ環境や習慣の基礎、基本を大切に教育を実践している。学力テストの結果では小学校は全国平均並み、中学校は全国平均をやや上回る結果となっているが、授業の振り返りや週末課題の定着を一層図っていく必要があると考えている。
- (3) 学習指導、生徒指導の教育活動の充実を図るため、教員補助員を小学校3名、中学校に3名配置することや小4から中3まで外国語を通じて表現力、コミュニケーション力を身に付けさせるため英語指導員を配置している。
また、理科や数学に対する子供たちの興味、関心が薄れ、学力低下との指摘があることから、小4から小6の理科には「理科支援員」を配置し、教員をサポートする体制の継続を図るとともに、中学校入学後における理科教育に対する意欲、関心等の充実及び学力向上に結び付くよう取り組んでいる。
- (4) 社会教育活動では、「出雲崎総合大学」事業は、22年間継続している事業で参加者の満足度も高く喜ばれているが、今後も多彩な講座やセミナーを計画していく中で、身に着けた知識や技能を地域などで活かすことのできるコーディネーターを増やす必要がある。
- (5) 小学校児童の放課後の学びの場として、「放課後子ども教室」「放課後児童クラブ」をより安全に過ごし、多様な体験や活動行うことができるように「放課後子ども総合プラン運営委員会」で、検証・評価を行っている。
- (6) コロナウイルス感染対策に係る学校、公共施設での必要なものや対応マニ

ュアルを作成し随時見直しを行い運用している。特に学校での万一に備えた行動パターンを学校と共有することができた。

4 今後の点検・評価にかかる重点事項について

次年度は、特に次の事柄に配慮しながら、取組んで参りたい。

- (1) GIGA スクール元年となる令和3年度は、すべての児童生徒が一人一台の端末を有効適切に活用し、個別最適な学びを確立できるように教育行政の質的向上を進めていく。そのために学校現場がICT機器を活用した授業づくりを積極的に進めることができるような研修体制の構築を図るとともに、各家庭におけるWi-Fi環境の整備を推進していく。
- (2) 令和3年度初めに、発達障害の通級指導教室が開催されることに伴い、通常学級に在籍していながらも特別な支援を要する児童生徒が特別な教育課程を通じて、障害の程度に応じた学びを獲得していける体制を構築する。
- (3) 中学校が新学習指導要領全面実施に伴い、児童生徒個々の学力を確実に高めていくために、小中連携した学習の取組を進めていく。特に小学校3, 4年生の英語活動、小学校5, 6年生の教科英語、新学習指導要領の下での中学校英語の連携を一層緊密にしていくことが求められている。教育委員会が町教研活動に働きかけながら教職員の研修意欲を高めていく。
- (4) 学習面では小中学校の9年間で発達段階に応じた指導を進めているが、学力テスト結果からさらに家庭学習の充実、定着を図り学力向上に努めたい。
総合学習等では、良寛学習を継続して行い、児童生徒一人ひとりが学習資料をファイル化し、学習成果の継続性を図っていき、その成果を称え中学校卒業時に「良寛学習修了証書 慈愛」を授与し、「ふるさと出雲崎・郷土の誇りである良寛の心」を持ち続ける学社連携事業を着実に進めたい。
- (5) 特別な支援が必要な児童生徒が増加傾向にあることから、特別支援教育の充実を図るため、教員補助員や介助員の配置により特性に応じた指導、支援を行い、一人一人の基本的な生活習慣の定着、コミュニケーションや社会性の向上を支援していく。学校側からも人的確保が充実されており喜ばれている。
- (6) 町民が心豊かな人生をおくるため、「家庭・地域の教育力の向上」「家庭・地域・学校・行政が一体となった生涯学習の推進」「歴史・文化・芸術の振興」の3つを施策の柱として進めていく。青少年育成や成人の学習活動で教室、講座、イベントなど行政が行うものに加え、自主的な団体活動の学習機会の充実を図っていく。
- (7) 青少年のSNSに係るトラブルが増加していることから、小・中学校においてタブレット端末の正しい使い方と危険性について指導・啓発を一層進めていかなければならない。

I 総合教育会議

(1) 新教育委員会制度により、町長が招集する「総合教育会議」を令和2年6月15日開催し、町長と出雲崎町の教育について意見交換を行い、教育現場の現状や児童・生徒の様子について話し合いを行いました。

出席者	出雲崎町長	小林 則幸
	教育長	佐藤 亨
	教育委員	村越 隆夫
	教育委員	内山 才子
	教育委員	佐藤 正志
	教育委員	大磯多華子
	教育課長	矢島 則幸
	管理指導主事	近藤 道範
	教育課課長補佐	吉岡 育子
	庶務学校教育係長	高橋 聡

話し合い事項

1 出雲崎町の教育推進について（教育長）

町教育計画に掲載されていない当面の課題について話合った。

- ① 学校でのコロナウイルス感染対策では、3密対応の徹底、衛生管理の徹底、家庭との連絡の徹底、これらの積極的な対応の下、通常に近い学校運営ができるようお願いした。
- ② 学びの保障の確保について、夏季休業の短縮による補習授業を行い、学力の定着、指導人材の配置を確認した。
- ③ 新学習指導要領への取組で小学校は今年度から中学校は来年度から改訂され、「3つの柱」(1)何ができるようになるのか、(2)何を学ぶのか、(3)どのように学ぶのかの観点から取り組んでもらうことを確認した。
- ④ 出雲崎高校への町の支援について、双方の教育資源を活かして相互交流・連携する事項の具体的な支援内容を年内に策定することについて確認した。

2 小・中学校の現状と課題について（管理指導主事）

- ① 学校でのコロナウイルス感染対策で3密を避ける新しい生活様式での学びの具体的な注意点について確認した。
- ② 新学習指導要領に基づく着実な実践に向けて、主体的・対話的な学びの実現に向けた授業改善、英語活動、プログラミング教育の充実を図ることをお願いした。
- ③ GIGAスクール構想の加速に対応した計画づくりで、ICT機器を使いこなし、深い学びを創造する教員研修のあり方や児童・生徒が使いこなして学びを深める計画ルールづくりについて説明した。
- ④ 特別支援教育の充実を図るため、障害の程度やニーズに応じた配慮や寄り添う相談体制の強化、きらり・教育委員会・学校の連携体制の充実の必要性を確認した。

II 教育委員会の会議及び活動状況

(1) 定例会および臨時会の開催 (定例会 5 回、臨時会 3 回)		
会議	日付	審議事項等
4 月定例会	4/22	奨学金の貸与 学校評議員、社会教育委員、公民館運営審議会委員、 スポーツ推進委員、教育行政点検評価員の委嘱 図書館協議会委員、スポーツ推進審議会委員の任命 (議案 8 件)
6 月定例会	6/15	教員の勤務時間の上限に関する方針の策定 小・中学校管理運営規則の改正 教育費補正予算 (議案 3 件) 教育委員と社会教育委員の合同勉強会
7 月臨時会	7/21	使用教科書用図書の採択 教育費補正予算 (議案 2 件)
9 月定例会	9/ 8	教育費補正予算 (8 月、9 月) (議案 2 件) 教育委員と社会教育委員の合同勉強会
10 月臨時会	10/30	教育長職務代理者の指名 (議案 1 件)
12 月定例会	12/4	教育費補正予算 (議案 1 件)
3 月定例会	3/3	教育費補正予算 (2 月、3 月)、教育費当初予算 教育委員会表彰 指定管理者の指定 (妻入り会館) (議案 5 件)
3 月臨時会	3/23	教職員及び教育委員会の人事異動 公民館長の任命 生涯学習推進計画策定、教育委員会組織規則の改正 (議案 4 件)
(2) 教育委員研修		
・新潟県市町村教育委員連合会総会・研修会 (中止)		
・意見交換会 (柳津町 中止)		
・庁内研修 5 回 「4 月・6 月・9 月・12 月・3 月」		

(3) その他の参加活動状況
・ 転入教職員面識会 (4月1日)
・ 未来の夢こども体験講演会 (11月30日)
・ 学校施設営繕視察検討会 (12月4日)
・ 町教育委員会表彰伝達式 (3月3日)

▶ 概要

令和2年度の教育委員会会議は、定例会を5回、臨時会を3回開催し、26件の議案を審議した。総合教育会議は児童・生徒等の生命・身体等の緊急の講ずべき課題はないために1回の開催となった。

また、教育委員の活動状況は、コロナウイルス感染症拡大防止のため年間を通して学校行事や研修会、社会教育行事等の開催が中止となり、自らが教育委員としての資質向上や、教育分野の視野を広げる活動を行うことができなかった。

▶ 成果と課題

- (1) 町長と教育委員による総合教育会議の開催より、コロナウイルス感染症防止の徹底や特別支援教育の充実、キャリア教育の推進を図るなど、両者の教育施策の方向性を共有し、一致して執行にあたることを確認できた。
- (2) 教育委員会を開催する際は、定例的に教育委員研修を実施することで、教育や子育て支援に関する新制度や児童生徒の現状を速やかに報告するなど教育委員と事務局の情報共有を進め審議の活性化に努めた。
- (3) 生徒指導、特にいじめや不登校に対しては、いたずらによる言動や不登校気味の児童・生徒が見られたが、即対応したことで大きな問題にはならなかった。今後も児童・生徒の様子を教職員が把握し、何かあった時は校長のもとで初期対応をチーム学校で取り組む体制を構築していく。また「出雲崎町いじめ防止基本方針」による取組や学校とPTA、保護者などと連携しながら、「いじめを生まない、いじめを絶対見逃さない」意識を醸成していく。
- (4) 自然体験として小4～小6までを対象にスキー教室を行った。また小1～小3も雪遊びやスケートを通じて新潟県内に住みながら冬の体験活動の機会が少ないことから学校生活では体験できない自然環境で心身、技能を高める目的で今後も続けていく。
- (5) 教育支援相談は教育課と保健福祉課で連携して対応している。職員(保健師)による聞き取りや助言を行い、ケースによっては専門員による巡回指導やスクールカウンセラー事業での臨床心理士による相談により、児童生徒の保護者への支援を行っている。
- (6) 高校生の通学に係る保護者の経済的負担の軽減を図るため、通学定期券購入費用の一部を助成しており、通学が困難で寮生活されている生徒も対象にしている。

- (7) 小・中学校に入学する児童・生徒の保護者に対し、入学祝い金の支給を入学前の2月に支給し、入学準備に保護者の経済的負担軽減が図っている。
- (8) 若者の定住促進を図るため、奨学金の貸与を受け大学・専門学校等に就学した学生が卒業後に当町に定住し就職された場合に返還する奨学金の一部を助成し、着実に成果を上げている。
- (9) コロナウイルス感染症の影響で保護者の就業環境など生活に影響を大きく受ける就学援助世帯及び本町出身の学生に対して応援支援金を支給し、家計の経済的な負担軽減を図った。
- (10) 昨今の通学途中の犯罪や交通事故を背景に、登下校の児童・生徒の安全確保が求められていることで、冬期間に限り自宅から3km以上の中学生にスクールバスの運行を開始し、遠距離生徒の通学の安全確保が図られている。
- (11) 町と出雲崎高校との包括協定が締結され、交流や連携を図りながら同校の持続的発展、地域貢献できる人材に結びつけるため、教育活動への人的・物的資源の活用や支援を積極的に行っていく。



総合学習（良寛学習 小3）



学習発表会

III 学校教育

1. 出雲崎小学校

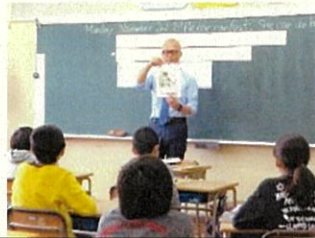
知育

主体的な学び

○ 「確かな学力」向上のために

重点的な取組

- * 学習習慣の定着を図ります。
- * 確かな学力を身に付けるために
ステップアップテストに取り組みます。
- * かかわり合って学ぶ授業を行います。
- * 外国語活動でコミュニケーション力を伸ばします。



5年外国語研究授業

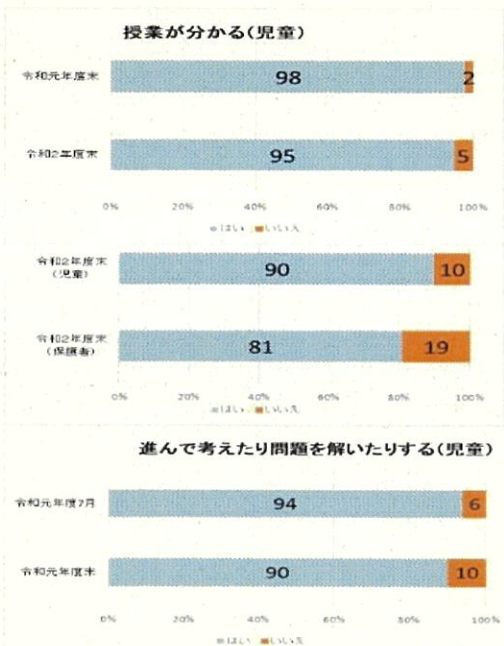


6年総合「佐渡金銀山サミット」

・「授業が分かる」と肯定的に考えている児童は、95%と高い水準です。今後も学習の見通しをもたせ、主体的な学習を促していきます。

・家庭学習の習慣化している児童の割合は90%と昨年度と同じく高い水準です。ただ、保護者のアンケートが81%と児童の評価と差があるのが気がかりです。今後も家庭と連携して学習習慣を定着させていきます。

・「進んで考えたり問題を解いたりする」ことは90%を超え、多くの児童が授業中よく考えていることがうかがえます。より深い学びにつながるように、授業改善を進めていきます。



次年度に向けて

- ★ 「主体的・対話的で深い学び」のある授業になるように教材研究を行い、一人一人が「わかる・できる」と感じる授業を工夫していきます。
- ★ 「自分から進んで行う家庭学習」の定着を目指し、学年に応じて内容や質、取り組み方を意識できるようにしていきます。

徳育

豊かな心

○ 豊かな心の育成のために

重点的な取組

- * いじめや差別0を目指します。
- * 人権を考える授業を行います。
- * 異学年交流を進めます。
- * あいさつ、ボランティア活動を進めます。
- * キャリア教育を進めます。

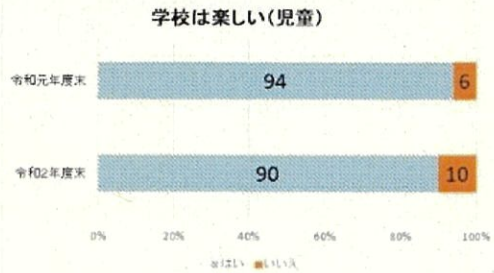


あいさつ運動

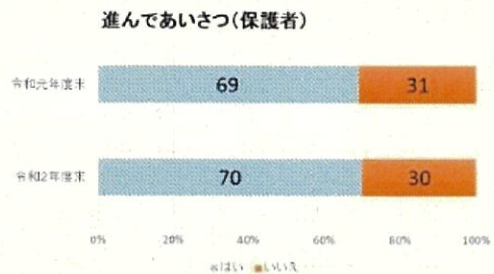


ふた葉遠足

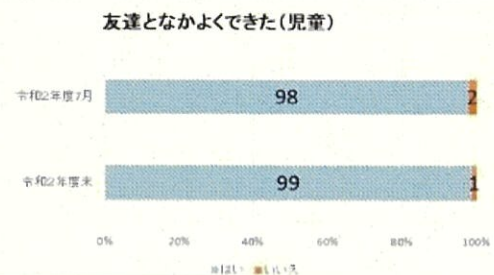
・「学校が楽しい」と肯定的に回答した児童は今年度も90%と高い水準にあります。より充実した教育活動を展開し、児童全員が学校は楽しいと感じられるように取り組んでいきます。



・あいさつ運動などの場面でのあいさつはよくなってきています。しかし、日常生活の中での自然なあいさつには個人差があり、今後の課題です。地域でのあいさつ、教室や廊下での望ましいあいさつが習慣化するように働きかけていきます。



・「友達となかよくできた」児童は99%とほぼすべての児童が友達となかよく学校生活を送っているようです。今後も児童の様子のかまめな見取りを継続します。



次年度に向けて

- ★児童会活動を充実させ、気持ちのよいあいさつをすることやきまりを守ることなど、児童の主体的な取組を大切に活動を進めていきます。
- ★今後も児童一人一人との面談や定期的に行っている「児童理解の会」を通して児童理解に努め、全校体制で豊かな心の育成に取り組めます。

体育

健康な体

○ 健やかな体づくりのために

重点的な取組

- * めあてをもって運動します。
- * メディアとの関わり方を指導・改善します。
- * 眠育に取り組みます。
- * 家庭と共に食育を推進します。



短縄跳びギネス大会



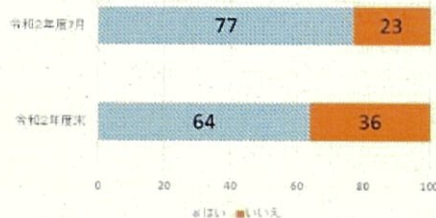
食育の授業

・今年度は感染症の影響で、下校後や休日の外遊びを控える家庭が多かったようです。学校では、休み時間になるとグラウンドや体育館で体を動かす子が多く、個人差はありますが、体を動かすことが好きな児童は多いと感じます。

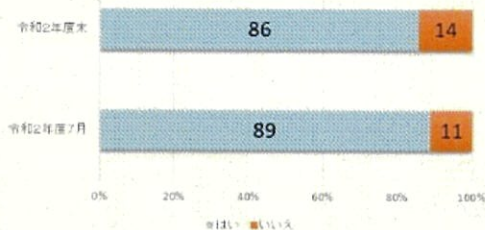
・運動する機会が減った分、テレビやゲーム、パソコン等、メディアの使用機会が増えます。保護者の回答結果から、メディア使用のきまりを守れていない児童がいる様子もうかがわれます。メディアとのよりよいかかわり方については、今後も家庭と連携して取組を進めていきます。

・保護者の皆様からの、正しい生活習慣のための働きかけにより、児童は生活リズムを整えて生活しようという意識が高まっています。今後も健康的な生活が継続できるように取り組んでいきますので、ご支援とご協力をお願いいたします。

体を動かして遊んだり運動したりする(保護者)



規則正しい生活習慣づくりのための働きかけ(保護者)



メディア使用の約束を守る、守らせている



次年度に向けて

- ★ 体育の授業等で運動する楽しさや上達する喜びを味あわせ、主体的に運動する態度が身に付くようにします。
- ★ 早寝・早起き・朝ご飯、メディアとのかかわり方について、ハッピーライフウィークの実施期間だけでなく、継続して取り組めるような手立てを考えていきます。

令和2年度

出雲崎小学校

学校評価だより

見つけよう 伸ばそう 自分の一番☆

今年度はこれを合い言葉に、全校児童と全職員で教育活動を進めてきました。年度末にあたり、今年度の重点目標の評価結果と、来年度に向けての取組についてご報告します。

* ↑：中間評価と比較してアップ ↓：中間評価と比較してダウン

児童アンケート結果				中間評価	年度末評価	比較	保護者アンケート結果				中間評価	年度末評価	比較
1	学校は楽しいですか。	93.5	90.1	↓	1	お子さんは、喜んで学校に通っていますか。	94.1	91.4					
2	授業が分かりますか。	94.8	95.4		2	お子さんは、学校の授業が分かっていると感じますか。	82.7	85.6					
3	毎日、学年×10分以上の家庭学習をしていますか。	90.2	90.7		3	お子さんは、毎日学年×10分以上の家庭学習に取り組んでいますか。	77.6	81.3	↑				
4	授業中、進んで考えたり問題を解いたりすることができましたか。	94.8	90.1	↓	4	お子さんに、家庭学習に取り組むための働きかけ（励ましや宿題の確認、アドバイスなど）をしていますか。	83.6	79.1	↓				
5	外国語活動や英語の時間に、自分から英語で話そうとしていますか。（3～6年生）	83.7	85.4		5	お子さんは、家庭や地域で、進んであいさつをしていますか。	67.5	70.5	↑				
6	友達となかよくできましたか。	98.0	99.3		6	お子さんに、家や地域であいさつするよう働きかけていますか。	90.1	89.9					
7	自分から進んであいさつできましたか。	96.1	95.4		7	お子さんに、肯定的で温かな言葉かけをしていますか。また、お子さんが乱暴な言葉遣いをしたときは指導していますか。	90.8	92.1					
8	係活動や当番活動、委員会の仕事など、みんなの役に立てたと思いますか。	93.5	94.7		8	家で、お子さんに手伝いをさせたり、仕事を任せたりしていますか。	84.2	81.2	↓				
9	毎日朝ごはんを食べていますか。	98.0	98.0		9	お子さんは、放課後や休日に体を動かして遊んだり、運動したりしていますか。	77.5	64.0	↓				
10	メディア（テレビ・ゲーム・スマホ・パソコン等）に関する家の人との約束を守っていますか。	93.4	92.0		10	メディア（テレビ・ゲーム・スマホ・パソコン等）について、家庭でルールを作り、守らせていますか。	72.4	78.4	↑				
11	休み時間や体育の時間に進んで運動しましたか。	93.5	92.7		11	お子さんの規則正しい生活習慣づくりのために働きかけ（アドバイス、子どもの生活リズムに親が合わせる、バランスを考えた朝ごはんづくり等）をしていますか。	89.4	86.3	↓				
12	体育の時間などで、自分のめあてをたてて、練習したり努力したりしましたか。	91.5	89.4		12	学校の職員は、お子さんや保護者の困りごとや悩み、相談事に対し、誠実に対応していますか。	96.0	98.5					
					13	学校は、学校・学年からのたより等で、学校の活動やお知らせを、適切に伝えていますか。	97.4	97.1					

今年度の学校評価は7月の中間評価、12月の年度末評価の2回実施しました。児童向けの「学校生活アンケート」保護者向けの「教育活動アンケート」を行いました。上の表の「中間評価」「年度末評価」欄は、各項目の集計結果の平均値を百分率(%)で表しています。

中間評価と年度末評価を比較して3ポイント以上変化があった場合は矢印で示してあります。

また、アップしている項目とダウンしている項目がありますが、概ね80%以上は良い評価と受け止めています。80%未満の項目についてはさらに活動を充実させていきたいと考えています。

～ 保護者の声 ～

○肯定意見 ●課題

○1学期に比べて挨拶ができるようになったことが嬉しく思います。

○子供は毎日楽しくすごしている様子です。

○小さなことでも何かあったら教えてくれることはありがたいです。

●地域で子供達の挨拶の声が聞かれない。おはようと声かけても、うつむく、無言など…。上級生の姿をよく見ていると思うので、下級生のお手本になる姿を見せてあげたい。

●あいさつは、知っている人には自らできるが声が小さかったり、働きかけられてやっとあいさつをするといった感じ。学校の先生や友達とあいさつをかわすのと違って、地域の人とのあいさつはハードルが高い様子です。

●学校に持たせてくださいという家で用意するもののお知らせが締め切りのすぐ前だったり、逆にすぐ間近だったりして、とてもわかりにくいです。すぐに買い物に行けなかったりするので、ある程度統一してほしいです。

●コロナのために予定の変更が多くあったと思いますが、連絡が来るのが直前であわてることがありました。

●最近、家庭で言葉遣いの悪さ、態度が気になることがあります。一時のものとは思いますが、子どもたちの善悪の判断基準を作る上で大切な時期ですので、家庭でも指導を進めていますが、学校の方でも、教育をよろしく願いいたします。

●ノートの写真は白黒でもいいですが、子供達の写真の時はカラー印刷ができるといいなと思います。

●上の子の学年は以前カラー印刷だったので、せっかくの写真なのでカラーだといいなと思います。

～ 保護者の声を受けて ～

◎あいさつについて

あいさつを課題にあげた保護者は他にもおられました。学校評価委員会等でもあいさつのが話題になりました。朝のあいさつやあいさつ運動などの場面では元気がよいのですが、それが日常生活につながっているかと言えば個人差があります。あいさつは人と人をつなぐ最初のコミュニケーションです。様々な価値観の人とよりよい関係を築くためにも今後ますます大切になってくると捉えています。家庭や地域でも自然に気持ちのよいあいさつができるように取組を工夫して進めていきます。

◎学校からの連絡について

保護者の皆様への急な連絡やお願いがあったこと、誠に申し訳ありませんでした。迅速なご対応に感謝しております。保護者の皆様への依頼は突然にならないよう、余裕をもった依頼を心がけます。おおよそ2週間前には連絡できるよう準備を進めていきたいと考えています。

◎子どもの言葉遣いについて

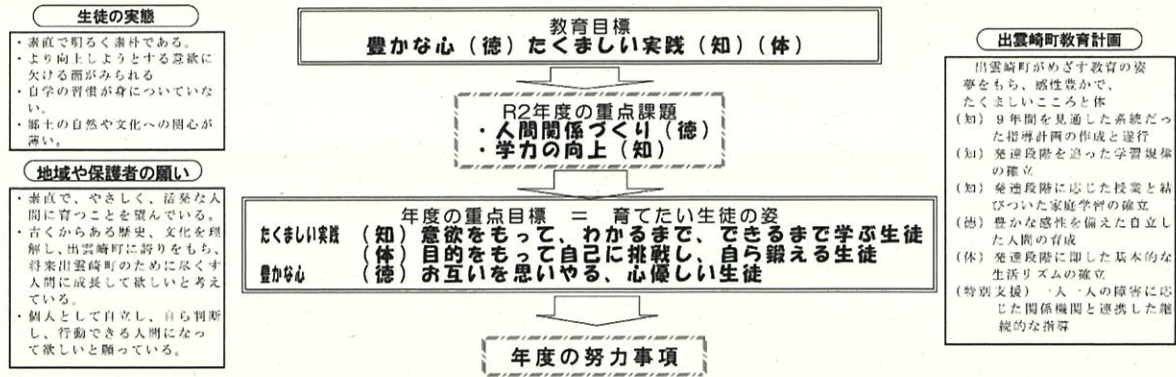
子どもの言葉遣いについて心配をされている保護者の方が見られます。学校では、言葉の暴力や威圧では、相手をコントロールすることはできないし、自分の品格を落とすことにつながるということをその場その場で教えていきます。

◎お便りについて

カラーのお便りを見たいという要望がありました。予算の関係から白黒でお便りを発行しています。カラーのお便りはweb上で掲載しておりますのでそちらをご覧ください。

2. 出雲崎中学校

6 令和2年度 出雲崎中学校グランドデザイン

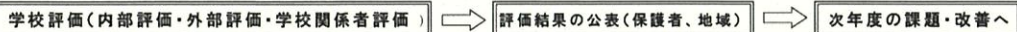


重点目標	知：意欲をもってわかるまでできるまで学ぶ生徒	徳：お互いを思いやる心優しい生徒	体：目的をもって自己に挑戦し自ら鍛える生徒
努力事項	1 知識・技能の着実な習得と、活用場面の充実を通して、学びの実感を育む。 2 言語活動の充実を通して、考えを深められる生徒を育成する。 3 キャリア教育の充実を通して、学ぶ意義や目的を見出し、主体的に学ぶとする意欲を育む。	1 相手の立場を考慮して行動するコミュニケーション能力を育成する。 2 互いに関心をもち、関わり合う活動を通して自己肯定感、自己有用感を育む。 3 人権教育・同和教育の充実を通して、差別や偏見をしない・させない人間関係づくりを醸成する。	1 具体的な目標をもって、継続的に体力の向上を図ろうとする生徒を育成する。 2 自己管理に対する高い意識をもち、基本的な生活習慣(メディアコントロール・睡眠時間・食生活)を確立する生徒を育成する。

目標達成計画

	生きて働く知識・技能	自己肯定感・自己有用感	体力の向上
成果	・12月のまとめテストの結果が基準を上回る。	・多くの生徒が「集団の役に立っている」と実感して学校生活を送る。	・2学期に行う新体力テストで、県平均越えの項目数が1学期を超える。
教育活動	ア チャイムと同時に学習活動に取り組む。 イ 基本的な知識や技能が身に付いていない課題がわかる ウ 毎日60+学年×10分以上家庭学習に取り組む	ア 専門委員会や学級の係活動などで自分の役割を果たす イ 生徒会活動において、決められた仕事だけでなく、自分で気づいて仕事を行う。	・運動やスポーツに親しみ、意欲的に取り組む。
運営活動	ア チャイムと同時に学習活動を毎時間準備する。 イ 知識・技能を働かせない課題を準備する。 ウ 家庭学習カードで予定と結果を毎日点検する。	ア 専門委員会や学級での取組について、自己評価や他者評価の場を設定し、よさを認め合ったり、改善すべき点を指導したりする。 イ 生徒会活動において、何のための活動か、どんな役に立つ活動かを毎月生徒に指導する。	・体育授業の準備運動で体力作り運動を毎時間実施する。
成果	・学ぶに向かう力が高まる。	・多くの生徒が安心して過ごせる学校、学級集団であると感ずる。	・「ハッピーライフワーク」で基本的な生活習慣の重点3項目を守って生活できる。
教育活動	ア ねらいを理解して一人学習や学び合いに取り組む。 イ 授業で、課題の解決に向けて、自分から考え、自分から取り組む。 ウ 進路や生き方に関する目標を設定し、体験活動に取り組む。	ア ペアトークやグループでの話し合いでは、相手が言いたいことを考えながら、人の話を聞くことができる。 イ 悩みや困ったことがあったら、誰かに相談できる。	ハッピーライフワークで ①11時までの自分の決めた時間に就寝する。 ②メディア時間を2時間以内にする。 ③バランスの取れた朝食を食べる。
運営活動	ア 毎単元、意図を明確にした話し合いの場面を設定する。 イ 毎単元、課題解決型の授業を設定する。 ウ 総合的な学習の指導で、事後のまとめ方を見通して、事前の指導を行う。	ア 望ましい傾聴のモデルを念頭において、授業や特別活動で傾聴の仕方を指導する。 イ 日々の生徒の様子や変化を捉えて、生徒に進んで声かけを行う。	・「ハッピーライフワーク」中、カードを使って個々の睡眠の評価と生活指導を行う。

評価サイクルによる評価の実施



特別支援教育

目標 一人一人の特別な教育的ニーズに応じたきめ細かな指導を行うことにより、将来的に自立した社会生活を送るための基礎的・基本的な知識と技能を身に付けさせる。

1年時

- ① 中学校生活のリズムを掴ませ、学校生活への適応を促す
- ② 生徒の状況を正しく伝え、保護者との連携を強める

個別指導の充実

2・3年時

- ① 自己理解を促し、自分の適性に合わせて良さを伸ばし、自己肯定感を高める
- ② 生徒の状況を正しく伝え、保護者との連携を強める
- ③ 進路に目を向けさせ、学習・生活の自立を促進する

令和2年度 出雲崎町立出雲崎中学校 学校の目標達成計画 年度末評価（知育）

知	評価項目	評価基準	評価	備考
生きて働く知識・技能	成果 ・12月のまとめテストの結果が基準を上回る。	全体平均を100として A：100以上の教科が1/15以上 B：100以上の教科が8/15以上 C：Bに満たない	A	1年 国115社114数113理122英116 2年 国112社110数109理111英110 3年 国100社94数106理103英92
	ア チャイムと同時に学習活動に取り組む。	生徒の授業アンケートの「4」のみ肯定とする集計方法で A：90%以上が肯定的評価 B：50%以上が肯定的評価 C：Bに満たない	B	1学期全校60.9% 2学期全校73.7% ※2学期学年別 1年85.7%、2年65.5%、3年71.1%
	イ 基本的な知識や技能が身に付いていなければできない課題ができる。	生徒の授業アンケートの「4」のみ肯定とする集計方法で A：75%以上が肯定的評価 B：50%以上が肯定的評価 C：Bに満たない	B	1学期全校49.8% 2学期全校57.9% ※2学期学年別 1年75.0%、2年44.8%、3年55.3%
	ウ 毎日60分+学年×10分以上家庭学習に取り組む。	生徒の学校生活アンケートで A：90%以上が肯定的評価 B：80%以上が肯定的評価 C：Bに満たない	C	1学期54.8% 2学期51.1% ※2学期学年別 1年55.6%、2年24.1%、3年68.4%
運営活動	ア チャイムと同時に行う学習活動を毎時間準備する。	教師の評価で A：全教師が肯定的評価 B：2/3以上が肯定的評価 C：Bに満たない	B	職員評価4件法で肯定的評価 1学期 100% 2学期 100%
	イ 知識・技能を働かせないと解決できない課題を準備する。	教師の評価で A：全教師が肯定的評価 B：2/3以上が肯定的評価 C：Bに満たない	A	職員評価4件法で肯定的評価 1学期 100% 2学期 100%
	ウ 終学活で、家庭学習カードの家庭学習の予定と結果を毎日点検する。	教師の評価で A：家庭学習カード記入の声掛けと点検をほぼ毎日行った。 B：半分以上できない日があった。 C：Bに満たない	A	教員評価4件法で肯定的評価 1学期 100% 2学期 90%
学びに向かう力	成果 学びに向かう力が高まる。	教育活動のア、イ、ウの評価で A=3点, B=2点, C=1点として、合計が A：8, 9点 B：5~7点 C：3, 4点	B	教育活動のアがB、イがB、ウがC 合計5点
	ア ねらいを理解して一人学習や学び合いに取り組む。	生徒の授業アンケートの「4」のみ肯定とする集計方法で A：75%以上が肯定的評価 B：50%以上が肯定的評価 C：Bに満たない	B	1学期 1年71%、2年46%、3年54%、全校58% 2学期 1年64%、2年55%、3年63%、全校61%
	イ 授業で、課題の解決に向けて、自分から考え、自分から取り組む。	生徒の授業アンケートの「4」のみ肯定とする集計方法で A：75%以上が肯定的評価 B：50%以上が肯定的評価 C：Bに満たない	B	1学期 1年64%、2年43%、3年57%、全校55% 2学期 1年57%、2年52%、3年55%、全校55%
	ウ 進路や生き方に関する目標を設定し、体験活動に取り組む。	教師の見取りで A：90%以上の生徒が肯定的評価 B：75%以上の生徒が肯定的評価 C：Bに満たない	A	職員評価4件法で肯定的評価 1学期 100% 2学期 90.9%
運営活動	ア 毎単元、意図を明確にした一人学習や話し合いの場面を設定する。	毎単元実施しているかについての教師の評価 A：全教師が肯定的評価 B：2/3以上が肯定的評価 C：Bに満たない	A	職員評価4件法で肯定的評価 1学期 100% 2学期 100%
	イ 毎単元、課題解決型の授業を設定する。	教師の評価で A：全教師が肯定的評価 B：2/3以上が肯定的評価 C：Bに満たない	A	職員評価4件法で肯定的評価 1学期 90% 2学期 100%
	ウ 総合的な学習の指導で、事後のまとめ方を見通して、計画的な指導を行う。	教師の評価で A：全教師が肯定的評価 B：2/3以上が肯定的評価 C：Bに満たない	A	職員評価4件法で肯定的評価 2学期末 100% ※1学期はコロナ禍のため、アンケート実施せず

令和2年度 出雲崎町立山雲崎中学校（徳育） 年度末評価

徳	評価項目	評価基準	評価	備考
自己肯定感・自己有	成果 ・多くの生徒が「集団の役に立っている」と実感して学校生活を送る。 (変更提案) Q-Uアンケートの活用 ・自分がクラスの活動に貢献していると実感して学校生活を送る。 「学級との関係」『16、自分もクラスの活動に貢献していると思う。』の結果を活用する。	生徒の学校生活アンケートで A：肯定的な評価割合が80%以上 B：肯定的な評価割合が60%以上 C：Bに満たない	A	R2 1学期末 【A】 1学期末-肯定的評価81.8% R2 2学期末 【A】 2学期末-肯定的評価86.3% 学年別に見ると、 1年肯定評価 82.1% 2年肯定評価 86.2% 3年肯定評価 89.5%
	教育活動 ア 専門委員会や学級の係活動などで自分の役割を果たす。	生徒の学校生活アンケートで A：肯定的な評価割合が80%以上 B：肯定的な評価割合が60%以上 C：Bに満たない	A	R2 1学期末 【A】 1学期末-肯定的な評価97.9% R2 2学期末 【A】 2学期末-肯定的評価96.9% 学年別に見ると、 1年肯定評価 100% 2年肯定評価 93.1% 3年肯定評価 97.4%
	イ 生徒会活動において、決められた仕事だけでなく、自分で気づいて仕事を行う。	生徒の学校生活アンケートで A：肯定的な評価割合が80%以上 B：肯定的な評価割合が60%以上 C：Bに満たない	A	R2 1学期末 【A】 1学期末-肯定的な評価割合96.8% R2 2学期末 【A】 2学期末-肯定的評価94.7% 学年別に見ると、 1年肯定評価 96.4% 2年肯定評価 93.1% 3年肯定評価 94.7%
運営活動	ア 専門委員会や学級での取組について、他者からの評価の場を定期的に設定し、良さを認めたり、改善すべき点を指導したりする。	教師のアンケートで A：肯定的な評価割合が80%以上 B：肯定的な評価割合が60%以上 C：Bに満たない	A	ア R2 1学期末 【A】 R2 2学期末 【A】 2学期末-肯定的な評価100%
	イ 生徒会活動において、毎月、何のための活動か、どんな役に立つ活動かを生徒に指導する。 (変更提案) ・生徒会本部や毎月の専門委員会で振り返りを行う際、活動の意味や学校生活向上に貢献する意義について指導する。	教師のアンケートで A：肯定的な評価割合が80%以上 B：肯定的な評価割合が60%以上 C：Bに満たない	C	イ R2 1学期末 【C】 R2 2学期末 【B】 2学期末-肯定的な評価63.6% *この項目は、Aのみを肯定的な評価とする。
豊かな人間関係づくり	成果 ・多くの生徒が安心して過ごせる学校、学級集団であると感じる。 (変更提案) Q-Uアンケートの活用 ・生徒がクラスの中にとほっとしたり明るい気分になる。 「学級との関係」『14、クラスの中にとほっとしたり明るい気分になる。』の結果を活用する。	生徒の学校生活アンケートで A：肯定的な評価割合が80%以上 B：肯定的な評価割合が60%以上 C：Bに満たない	A	R2 1学期末 【A】 1学期-肯定的な評価92.5% R2 2学期末 【A】 2学期末-肯定的評価89.5% 学年別に見ると、 1年肯定評価 83.9% 2年肯定評価 91.3% 3年肯定評価 93.4%
	教育活動 ア ヘアトークやグループでの話し合いでは、相手が言いたいことを考えながら、人の話を聞くことができる。	生徒の学校生活アンケートで A：肯定的な評価割合が80%以上 B：肯定的な評価割合が60%以上 C：Bに満たない	A	R2 1学期末 【A】 1学期末-肯定的な評価97.3% R2 2学期末 【A】 2学期末-肯定的評価100% 学年別に見ると、 1年肯定評価 100% 2年肯定評価 100% 3年肯定評価 100%
運営活動	イ 悩みや困ったことがあったら、誰かに相談できる。	生徒の学校生活アンケートで A：悩みや困ったことがあったら、誰かに相談できたと回答する生徒の割合が80%以上 B：誰かに相談できたと回答する生徒の割合が60%以上 C：Bに満たない	A	R2 1学期末 【A】 1学期末-肯定的な評価91.9% R2 2学期末 【A】 2学期末-肯定的評価90.5% 学年別に見ると、 1年肯定評価 82.2% 2年肯定評価 89.7% 3年肯定評価 97.4%
	ア 望ましい傾聴のモデルを念頭において、授業や特別活動の場面で傾聴の仕方を指導している。	教師のアンケートで A：肯定的な評価割合が90%以上 B：肯定的な評価割合が70%以上 C：Bに満たない	A	ア R2 1学期末 【A】 R2 2学期末 【A】 2学期末-肯定的評価100%
	イ 日々の生徒の様子や変化を捉えて、生徒に進んで声かけを行う。	教師のアンケートで A：肯定的な評価割合が90%以上 B：肯定的な評価割合が70%以上 C：Bに満たない	A	イ R2 1学期末 【A】 R2 2学期末 【A】 2学期末-肯定的評価100%

令和2年度 出雲崎町立出雲崎中学校 学校の目標達成計画 (体育)

	評価項目	評価基準	評価	備考
体力の向上	<p>・2学期に実施する新体力テストで、36項目中、1学期に実施する新体力テストの県平均を18項目以上越える。(1学期は全48項目実施)</p> <p>※1学期の新体力テスト：全国共通 ※2学期の新体力テスト：学校独自に実施 ※2学期は、屋内6種目のみ実施</p>	<p>2学期に行う新体力テストの結果で、36項目中、</p> <p>A：18項目以上、昨年度の県平均を上回る B：14項目以上、昨年度の県平均を上回る C：Bに満たない。</p> <p>※ 総項目数：テスト6種目×各学年・男女6集団の平均＝36項目</p>	A	<p>1学期：13項目(48項目中)</p> <p>・1男：4項目・1女：1項目 ・2男：5項目・2女：1項目 ・3男：1項目・3女：1項目 ⇒県平均値達成率：27.1%</p> <p>2学期：19項目(36項目中)</p> <p>・1男：5項目・1女：4項目 ・2男：6項目・2女：1項目 ・3男：2項目・3女：1項目 ⇒県平均値達成率：52.8%</p>
	<p>・体育授業や部活動、昇休み、日常生活のなかで、運動やスポーツに親しみ、意欲的に取り組む。</p>	<p>生徒の学校生活アンケートで「あなたは運動(体を動かす遊びを含む)やスポーツが好きですか」という質問に</p> <p>A：好きという生徒が男子70%以上 女子53%以上 B：好きという生徒が男子65%以上 女子48%以上 C：Bに満たない。 ※男女とも数値が上回ることをとする。</p>	A	<p>2学期の結果</p> <p>・「体を動かすことやスポーツが好きですか。」という質問に 「好き」「どちらかというと好き」という生徒が、全校で89.5%であった。(1学期は84.9%)</p> <p>1学年・・・89.6%(85.8%) 2学年・・・82.7%(85.7%) 3学年・・・92.1%(83.8%)</p>
	<p>・体育授業の準備運動で、体力づくり運動を毎時間実施する。</p>	<p>4月～10月(水泳授業のある7月を除く)体育(準備運動)で、体力づくり運動を</p> <p>A：総時数の75%以上の時間で実践 B：総時数の60%以上の時間で実践 C：Bに満たない。</p>	A	<p>・体力づくり運動を毎時間実践した。 ・2学期の新体力テストでは「筋力(握力・上体起こし)」が全学年で向上した。</p>
基本的な生活習慣の確立	<p>・ハッピーライフウィークでの基本的な生活習慣の重点3項目を守って生活できる。</p>	<p>教育活動の重点3項目の取組で</p> <p>A：3項目を達成する B：2項目を達成する C：Bに満たない</p>	A	<p>・年に2回実施(9月上旬と1月下旬)。 ・「23時までに就寝する(睡眠時間7～9時間)。」、「メディア利用を2時間以内にする。」、「主食の他に、おかず1品以上の朝食を食べる。」の3項目すべてで全校平均が80%を越えた。</p>
	<p>・ハッピーライフウィークで ①23時までの自分の決めた時間に就寝する。</p>	<p>生徒取組カードで</p> <p>A：80%以上の生徒が実施 B：60%以上の生徒が実施 C：Aに満たない。</p>	A	<p>9月の結果(1月は今後実施)</p> <p>①自分の決めた時間に就寝する。 1年生：85.7% 2年生：93.1% 3年生：74.4% 全 校：83.5%</p>
	<p>・ハッピーライフウィークで ②メディアの使用を2時間以内にする。</p>	<p>生徒取組カードで</p> <p>A：80%以上の生徒が実施 B：60%以上の生徒が実施 C：Aに満たない。</p>	A	<p>②メディアの利用時間を2時間以内にする。 1年生：92.6% 2年生：88.2% 3年生：80.5% 全 校：86.5%</p>
	<p>・ハッピーライフウィークで ③バランスの取れた朝食を食べる。</p>	<p>生徒取組カードで</p> <p>A：80%以上の生徒が実施 B：60%以上の生徒が実施 C：Aに満たない。</p>	A	<p>③バランスの取れた朝食を食べる。 1年生：91.1% 2年生：96.1% 3年生：91.4% 全 校：92.7%</p>
<p>・ハッピーライフウィーク中、カードを使って個々の睡眠の評価と生活指導を行う。</p>	<p>ハッピーライフウィーク中に担任が学年主任、養護教諭のいずれかが</p> <p>A：毎回、必要な生徒に向けて必要な生活指導を行う。 B：年間1回以上、必要な生徒に向けて必要な生活指導を行う。 C：Bに満たない。</p>	A	<p>・ハッピーライフウィークを年2回実施(9月と1月)。 ・9月の実施前は学級担任が各クラスへ指導を行った。 ・1月の実施前は養護教諭、栄養教諭を中心にパワーポイント等を使用し、「睡眠指導」、「メディア指導」、「食育指導」を行い、意識を高めた。</p>	

3. 学校支援地域本部事業



令和3年3月

学校支援地域本部事業報告

 出雲崎小学校
 出雲崎中学校

活動のあゆみ

運営委員長 内藤 仁

新型コロナウイルス感染拡大により、生活様式が大きく変わりました。学校生活や教育活動にも様々な制限が課せられましたが、小中両校では、感染予防対策を講じ、工夫した教育活動を展開していました。

このコロナ禍において、改めて大切だと感じたのは、人とのかかわりや周りとのかかわりです。出雲崎の豊かな自然、文化、人とかかわることを通して、子どもたちは様々なことを学びます。かかわりを深めるために、地域と学校の連携のあり方を考え、さらに強めていきたいと考えています。

本リーフレットを通して、小中学校の活動の一端を皆様にご報告させていただきます。今後も変わらぬご理解とご協力を賜りますようお願いいたします。



1年

大すきいっぱい! ~みんななかよし~

入学して、初めてのことがたくさんありました。1年生は、多くのことに目を輝かせてチャレンジしてきました。学校の裏山「ほなみが丘」探検、昔の遊び体験では、地域の方に自然や遊びを教えていただきました。また、出雲崎に暮らしている「やぎ」や「牛」にもあいに行き、自然・生き物・人々とかかわり合いながら、大すきがいっぱいになりました。



「ほなみが丘」探検



昔の遊び体験



やぎのしろちゃんに会いに



牛たちに会いに

2年

町のすてき大発見!

~自然の恵み・地域の方との出会い~

梅もぎ体験や梅ジュース作りを通じて、地域の良さを感じました。駅前と海岸の二度に及ぶ「町探検」では、地域にあるお店や施設を訪問し、町で働く様々な人と出会い、思いを感じてきました。出雲崎町の自然の恵みや、地域の方々の暖かさに触れながら、町のすてきなところをたくさん見つけてきました。



梅もぎ体験



梅の選別場見学



町探検 ~駅前編~



町探検 ~海岸編~

3年

出雲崎のいいところ ~ぼくの・わたしの自まんの町~



良寛記念館の見学

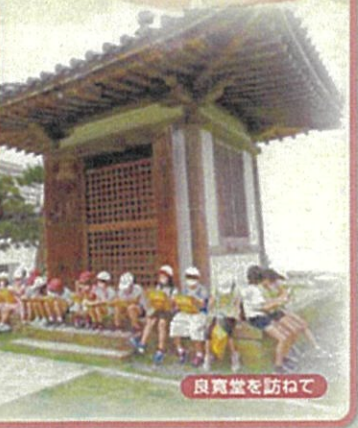


浜焼きの作り方を教えてもらいました



磯野紙風船製造所の見学

良寛さんの生まれた場所「良寛堂」と「良寛記念館」の見学をし、良寛さんの生い立ちや人柄を学びました。日本で唯一紙風船を作っている「磯野紙風船製造所」を見学し、オリジナル紙風船作りに挑戦。「出雲崎名物の浜焼き」もみんなで味わいました。「出雲崎大祭」や「船祭り」など、伝統を受け継ぐ行事や芸能のお話をたくさんお聞きし、出雲崎のよさを一人一人が実感することができました。



良寛堂を訪ねて

4年

けやき環境調査隊 ～できることからやってみよう～

4年生は、自分たちの身近な環境について考えました。生き物調査やごみ調査、講師の方々のお話から、生き物にはそれぞれに適した環境があること、わたしたち人間が出しているごみが、さまざまな環境問題を引き起こしていることなどを学びました。

このままではいけない！自分たちができることは何か？3Rの実践、エコバッグを利用する、環境マークの商品を使うなど、子どもたちが身近な問題として捉え、自分たちができる第一歩を考えることができました。



井ノ海岸でのごみ調査



プールの生き物調査



環境マークを学ぼう



海洋ごみ問題を考えよう

5年

見つめよう！わたしたちの「食」

～米づくりを通して、身近な食を考える～

当たり前毎日食べているごはん。当たり前過ぎて、ちょっとくらい残しても気にならないごはん。そんなごはんを苗から植え、育て、食べてみました。コロナ禍ということもあり、JAさんから全面協力をいただきながら、稲の生長を見守り、稲刈り、脱穀、もみすり、精米の過程を自分たちの手でやった「かえて米」を食べることで、「食」にかかわる人たちの苦勞や感謝を感じることができました。



自分の食生活を見直す



稲の生長観察



精米も体験

「かえて米」ができました



田植えを終えて「はい、チーズ！」

6年

人に出会い 人に学ぶ ～自分の生き方を見つめよう～

“人”に出会うことを通して、“人”に学びたい。そして、学んだことを自分に生かしていきたい。そんな思いで活動を進めてきました。

これまでに各分野で活躍する人々へのインタビュー活動を通して、様々な「生き方」を学び、新しい視点で自分を見つめてきました。また、私たちの町『出雲崎の金銀』について地域の人に学び、多くの人に出雲崎のよさを伝えることにより、自分の町を誇りに思う気持ちが深まりました。



老舗の和菓子屋さんに学ぼう



出雲崎の町に学ぼう



良寛様に学ぼう



佐渡金銀山子どもサミットで伝えよう



今の自分を見つめて書こう

出雲崎中学校の取組

ふるさとの方々から学ぶ

今年は、例年行っていた訪問活動ができませんでしたが、地域に関係するたくさんの方々からおいていただき、様々な分野について学ぶことができました。



4月 自転車教室



8月 親子グラウンド除草



7月 書写指導



10月 AED講習



10月 歯磨き教室



10月 薬物乱用防止教室



10月 総合的な学習「地域の人に地域の良さを学ぶ」



12月 性の指導



12月 人権講演会

グループで出雲崎町内を巡り、自然、産業、文化、など、町の現在を探る活動を行いました。

ふるさとへの愛着と誇りを育てる



IV 社会教育事業の実施状況

1. 社会教育・公民館事業

①青少年教育事業

事業名	事業の対象	実施内容
夜間キッズ 「レベルアップ コース」 出雲崎ッズ 「夏休み講座」	小学生	今年度から、放課後子ども教室事業へ変更 夏季休業短縮により、日程調整つかず中止
学びアシスト 「きらり塾」	中学校3年	実施回数・中学校3年生 毎週水曜日 19:00~21:00 全36回 前期 6月~10月 11人申し込み 後期 11月~2月 8人申し込み 会場 中央公民館視聴覚室 講師 遠山昇氏 (三島中学校校長退職、現在長岡市社会教育委員) 目的及び内容 学習習慣を身につけたい。苦手科目を克服したい。受験に向け不安がある。何を勉強すればよいかわからない。などの悩みを解消。 5教科を対象とした自主学习。 疑問点等を講師に質問し、悩みを解消。
放課後子どもプラン ・放課後児童クラブ (放課後児童健全 育成事業) ・放課後子ども教室	小学校 1~6年	実施回数 通年(月~金放課後、第1・3・5土曜日、 振替休業日、長期休暇期間) 会場 出雲崎小学校体育館内 児童クラブ室 登録数 1年生:14名 2年生:11名 3年生:14名 4年生:9名 5年生:2名 6年生:0名 目的及び内容 昼間保護者が不在となる家庭の児童の保護保育を図るため、遊びや生活の場を提供する。 実施回数 2学期:月~金放課後 3学期:火・水・金放課後 (学校行事等と重なる日は実施しない) 会場 出雲崎小学校生活科室、中央公民館、 町民体育館 申込数 1年生:6名 2年生:10名 3年生:7名

		<p>4年生：11名 5年生：9名 6年生：5名 ※教室は複数参加できます</p> <p>目的及び内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域の教育力を活かし、体験や交流、学習など多様な活動の機会の提供。 ・放課後等の安心安全な居場所づくり。 <p>(主な内容)</p> <p>理科工作実験、野球、英語学習、伝統文化教室、運動あそび</p>
--	--	----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

「えいごあそびうた (ETM) 1～3年」



「伝統文化教室 昔遊び」



「英語教室 4～6年」





「伝統文化おけさ教室」



「運動あそび塾」





②成人期・高齢期の学習活動

事業名	実施内容
出雲崎総合大学	<p>実施回数 全 10 回開催（歴史・文化・化学など幅広く実施） 受講者数 43 人 実施内容 住民の学習意欲を促進し、健康で文化的な活力あふれる、生きがいのある生涯学習社会の実現を図ることを目的とした学習講座。</p> <p>〈主な講座〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・良寛記念館所蔵作品説明 ・出雲崎における北前線の歴史と役割～公開講座～ ・県立歴史博物館出前講座「まつりの食文化」 ・里山体験プログラム ・出雲崎の人物など ・同窓会（初開催） <p>（第 12 回 講座風景）</p>  <p>（閉校式記念写真）</p> 

公民館講座	
料理教室	対 象 一般町民 実 施 日 新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から中止
フラワー アレンジメント教室	実 施 日 7/4 (土) 夏のさわやかアレンジメント 9/26 (土) コケ玉のアレンジメント 10/31 (土) フラワーフレーム 12/19 (土) お花のツリー 3/27 (土) 申し込みが少ないため中止 参加者数 12月までの人数 20名 講 師 明田川 綾子 氏
古文書に親しむ講座	実 施 日 9/10 (木) 「越後孝婦伝」をよむ① 9/24 (木) 「越後孝婦伝」をよむ② 10/8 (木) 「北越奇談」をよむ 10/22 (木) 「東講商人鑑」をよむ 受講者数 14名 講 師 小熊 よしみ 氏

③芸術・文化活動

事業名	実施内容
文化芸術鑑賞会	対 象 出雲崎小、中学生及び一般町民 実 施 日 新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から中止
東京藝大生招致事業	参加者数 東京藝術大学 大学院生 実 施 日 新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から中止
第16回良寛さん 心の書道展	目 的 子どもたちに良寛さんのやさしい心を継承する 対 象 出雲崎小、中学生 応 募 数 249点 展示期間 9月12日(土)～22日(火・祝) 会場：中央公民館講堂

<p>生涯学習 フェスティバル</p>	<p>作品展示 11月2日(月)～8日(日) 出展者18団体+個人26名 ステージ発表 11月3日(火・祝) 出演団体7団体 その他の催し物 11月3日(火・祝) 実施 健康づくりコーナー(保健福祉課) 廃棄図書の無償配布(図書館)</p>  
<p>文化サークル 活動助成</p>	<p>・5サークルに助成 太極拳、書道、ガーデニング、英会話、ちぎり絵</p>
<p>関係団体活動助成</p>	<p>・1団体に助成 出雲崎妻入りの街並景観推進協議会</p>

④学校・家庭・地域の連携事業

事業名	実施内容
<p>学校・家庭・地域の 連携事業 (学校支援地域本部)</p>	<p>学校、家庭、地域が一体となって地域ぐるみで子どもを育てる体制を整えることを目的としている。 地域コーディネーターが中心となって、地域の様々なボランティア指導者や団体と協力して小中学生を対象に活動を実施。</p>

⑤その他事業

事業名	実施内容
<p>公民館だより発行</p>	<p>毎月1回(4ページ)、公民館の活動内容などを紹介した「公民館だより」発行し、町の全世帯に配布。町ホームページにも掲載。仕分け作業等をふれあいサポートセンターに委託している。</p>

生涯学習 カレンダー作成	公民館、町、学校などの事業予定を掲載したカレンダーを作成し、町の各世帯や事業所に3月5日に配布。(作成部数 1,850 部)
生涯学習人材バンク の策定	<p>目的 “誰でも何かの先生になれる”を合言葉に、地域住民から先生を見つけて、公民館講座や放課後子ども教室等の事業に講師として参画し、各人の持つ技能や技術等を広く伝えていくことによって、生涯学習の推進を図る。</p> <p>対象 一般町民</p>
良寛記念館	<p>○年4回の特別企画展</p> <p>～良寛没後190周年を記念して～</p> <ul style="list-style-type: none"> ・春の特別企画展「菟められた良寛さま展」 <p>～良寛さまに惚れた！</p> <p>現代蒐集家が集めた物から感じる良寛さまの魅力～</p> <p>ギャラリートーク 7月25日(土)開催</p> <ul style="list-style-type: none"> ・夏の特別企画展「棟方志功と旭達文師弟展」 <p>～良寛を敬慕した版画家 旭 達文と師棟方志功の軌跡～</p> <p>ギャラリートーク 10月4日(土)開催</p> <ul style="list-style-type: none"> ・秋の特別企画展「富川潤一作品初公開展」 <p>～良寛のこころを描き映した画家～</p> <ul style="list-style-type: none"> ・冬の特別企画展「星野富弘 花の詩画展」 <p>～いつもの景色はいつも特別だった～</p> <p>ギャラリートーク 3月13日(土)開催</p> <p>○新春音楽会</p> <p>弦楽器アンサンブル演奏</p> <p>2月28日(日) 11:00～12:00 演者 アンサンブルスバル</p> <p>○良寛さまアート作品募集</p> <p>応募総数57点の中から、最優秀賞・優秀賞を決定</p>
北前船日本遺産推進 事業	<p>○総合大学公開講座</p> <p>10月25日(日) 13:30～16:00</p> <p>「北前船と出雲崎・尼瀬」</p> <p>講師 安宅 俊介(新潟市歴史博物館)</p> <p>「日本遺産でまちの再発見と活性化ー北前船のまち直江津ー」</p> <p>講師 佐藤 和夫(まちおこし直江津)</p> <p>○町家展示施設「出雲崎寄港地の町家」整備工事</p> <p>北前船をはじめとする廻船の文化と歴史を伝える展示施設を整備し、周辺の観光資源と併せた妻入りの街並みの周遊の活性化を図る。</p> <p>令和3年5月1日(土)開館予定</p>

⑥施設利用状況（公民館・良寛記念館）

公民館利用者数

令和元年度（H31.4.1～R2.3.31）		令和2年度（R2.4.1～R3.3.31）	
海岸公民館	中央公民館	海岸公民館	中央公民館
2,923 人	10,768 人	1,968 人	7,521 人

良寛記念館入館者数

令和元年度（H31.4.1～R2.3.31）	令和2年度（R2.4.1～R3.3.31）
11,394 人	4,532 人

2 図書館事業

①図書館利用状況について（2月末日現在）

表1：分類別利用状況

	令和元年度 (H31.4.1～R2.3.31)		令和2年度 (R2.4.1～R3.3.31)	
	海岸公民館	中央公民館	海岸公民館	中央公民館
総記	22 冊	17 冊	22 冊	10 冊
哲学	103 冊	49 冊	40 冊	37 冊
歴史	144 冊	33 冊	133 冊	24 冊
社会科学	117 冊	28 冊	102 冊	26 冊
自然科学	100 冊	40 冊	117 冊	38 冊
技術	91 冊	55 冊	98 冊	16 冊
産業	19 冊	13 冊	30 冊	18 冊
芸術	152 冊	36 冊	72 冊	19 冊
言語	9 冊	14 冊	12 冊	5 冊
文学	1,812 冊	556 冊	2,185 冊	775 冊
絵本・紙芝居	333 冊	321 冊	263 冊	312 冊
雑誌	135 冊	28 冊	86 冊	53 冊
計	3,037 冊	1,190 冊	3,160 冊	1,333 冊

※ 年度別貸出冊数

平成30年度	令和元年度	令和2年度
4,100 冊	4,227 冊	4,493 冊

表 2：図書貸出年齢別貸出人数

	令和元年度 (H31.4.1~R2.3.31)		令和 2 年度 (R2.4.1~R3.3.31)	
	海岸公民館	中央公民館	海岸公民館	中央公民館
一般 (23 歳以上)	921 人	390 人	1069 人	361 人
学生・生徒 (13 歳~22 歳)	4 人	3 人	28 人	7 人
児童 (12 歳以下)	95 人	19 人	54 人	13 人
合計	1,020 人	412 人	1,151 人	381 人

※年度別貸出人数

平成 30 年度	令和元年度	令和 2 年度
1,486 人	1,432 人	1532 人

表 3：年齢別図書館利用人数

	令和元年度 (H31.4.1~R2.3.31)		令和 2 年度 (R2.4.1~R3.3.31)	
	海岸公民館	中央公民館	海岸公民館	中央公民館
一般 (23 歳以上)	352 人	49 人	250 人	38 人
学生・生徒 (13 歳~22 歳)	54 人	30 人	27 人	13 人
児童 (12 歳以下)	103 人	5 人	95 人	6 人
合計	509 人	84 人	372 人	57 人

※年度別利用人数

平成 30 年度	令和元年度	令和 2 年度
771 人	613 人	427 人

表 4 : 図書購入状況

	令和元年度 (H31.4.1~R2.3.31)		令和 2 年度 (R2.4.1~R3.3.31)	
	海岸公民館	中央公民館	海岸公民館	中央公民館
総 記	7 冊	5 冊	9 冊	2 冊
哲 学	5 冊	3 冊	5 冊	1 冊
歴 史	16 冊	12 冊	14 冊	1 冊
社会科学	21 冊	6 冊	23 冊	3 冊
自然科学	15 冊	12 冊	25 冊	3 冊
技 術	13 冊	11 冊	19 冊	5 冊
産 業	7 冊	1 冊	2 冊	3 冊
芸 術	18 冊	9 冊	11 冊	3 冊
言 語	6 冊	0 冊	0 冊	0 冊
文 学	203 冊	105 冊	240 冊	117 冊
絵本・紙芝居	73 冊	51 冊	74 冊	76 冊
計	384 冊	215 冊	422 冊	214 冊
(雑誌種類)	7 種類	2 種類	7 種類	2 種類

※年度別購入冊数

平成 30 年度	令和元年度	令和 2 年度
659 冊	599 冊	636 冊

②その他事業

事業名	実施内容
ブックスタート事業	1歳6ヶ月になる児童に絵本3冊を贈呈している。
親子文庫	小学校を通じて、小学2~5年生の家庭に対し、本のセット(児童とその保護者)を貸し出す。
除籍図書の無償配布	11月3日の生涯学習フェスティバルにおいて除籍した図書を無償で配布。

3 社会体育事業

①町内大会

大会名	実施(予定)日	備考 今年度(昨年度)
第42回 町民バレーボール大会	6月21日(日)	新型コロナウイルス感染症防止のため中止 (6チーム 75人)
第14回 町民ウォーキング	10月11日(日)	31名 (雨天中止)
第39回 町内ゲートボール大会	10月13日(火)	7チーム 47人 (8チーム 52人)
第31回 町民ソフトバレーボール大会	11月8日(日)	新型コロナウイルス感染症防止のため中止 (12チーム 80人)
第5回 町民卓球大会	12月6日(日)	新型コロナウイルス感染症防止のため中止 (17チーム 85人)
第34回 屋内ゲートボール大会	2月9日(火)	6チーム 37人 (8チーム 51人)
第40回 町民バドミントン大会	3月14日(日)	新型コロナウイルス感染症防止のため中止 (中止)
町民登山	5月～6月	新型コロナウイルス感染症防止のため中止 (尾瀬:15人)
	10月～11月	新型コロナウイルス感染症防止のため中止 (角田山:雨のため中止)



屋内ゲートボール大会

②体力づくり事業(実施場所:町民体育館2階トレーニング室)

事業名	実施(予定)日	備考 今年度(昨年度)
トレーニング教室	第1期:5月~9月 全10回 第2期:10月~2月 全10回	参加人数減少により中止 (申込:19人 延べ:194人) (申込:15人 延べ:120人)

③スポーツ教室等

大会名	実施(予定)日	備考 今年度(昨年度)
わんぱく水泳教室	8月3日~8月7日 全5回	申込:19人 延べ:81人 (申込:32人 延べ:137人)
柔道教室	通年(火・金)	8人(9人)
テニス教室	7月~11月 全17回	申込:13人 延べ:110人 (申込:10人 延べ:106人)
フットサル教室	5月~7月 全10回	新型コロナウイルス感染症 防止のため中止 (申込:10人 延べ:51人)
柔道昇級審査会	12月6日(日)	8人(9人)
さわやかスポーツ教室	通年(火) 全16回	申込:21人 (申込:31人 延べ:344人)
いきいき体操教室	8月~12月 全10回	申込:7人 延べ:54人
ストレッチポール教室	8月~10月 全10回	申込:10人 延べ:81人
トランポピクス教室	9月~12月 全6回	申込19人 延べ:61人
太極拳教室	(昼)7月~9月 全10回 (夜)10月~1月全10回	申込:11人 延べ:61人 申込:6人 延べ:27人
小学生スポーツ チャレンジ教室	バレー :7~9月 全10回 卓球 :9~11月 全8回 バスケ :10~12月 全8回	バレー 申込:17人 延べ:158人 (申込:10人 延べ:149人) 卓球 中止 (申込:18人 延べ:293人) バスケ 中止 (申込:8人 延べ:63人)
スキー&スノーボード教室	2月14日(日)	中止(23人)



さわやかスポーツ教室



太極拳教室



わんぱく水泳教室

④体育協会主催事業

事業名	実施（予定）日	備考 今年度（昨年度）
姉妹都市 中学生交流スポーツ大会	7月頃	会場：出雲崎町 新型コロナウイルス感染症 防止のため中止 (出雲崎町：11人 柳津町：6人)
姉妹都市 親善スポーツ大会	10月頃	会場：出雲崎町 新型コロナウイルス感染症 防止のため中止 (台風19号により中止)
第19回出雲崎町近郷 ゲートボール大会	3月3日(水)	新型コロナウイルスの影響により 中止(中止)

⑤スポーツ推進委員関係

事業名	実施日	備考
中越地区社会体育研究協議会	書面協議	長岡市
北陸地区スポーツ推進委員研修会	中止	長岡市
新潟県スポーツ推進委員大会	11月8日(日)	長岡市
全国スポーツ推進委員研究協議会	中止	栃木県宇都宮市
中越地区社会体育総合研修会 兼二市三刈羽ブロック研修会	11月28日(土)	出雲崎町

⑥長岡地域定住自立圏スポーツ振興事業

- ・スポーツ指導者派遣事業
「コーディネーショントレーニング教室」 2月～3月（全5回実施）



コーディネーショントレーニング教室

⑦東京 2020 オリンピック・パラリンピック関係

事業名	実施予定日等
東京 2020 パラリンピック 聖火フェスティバル（採火式）	8月15日（土） 出雲崎漁港 ※新型コロナウイルスの影響で中止

⑧体育施設利用状況

	令和元年度 (H31. 4. 1~R2. 2. 28)	令和2年度 (R2. 4. 1~R3. 2. 28)
町民体育館	28,669人	18,652人
(トレーニング室)	(10,525人)	(6,712人)
町民野球場	2,991人	2,833人
多目的運動場	950人	706人
プール	4,789人	1,849人
柔道場	589人	448人
屋内GB場	4,708人	3,348人

▶概要

令和2年度は、青少年や一般成人等を対象とした各事業について、コロナウイルス感染防止から中止または縮小したものが多く、学習ニーズの高まりや多様化に対応できるよう次年度以降は感染症対策を取りながら内容の一層の充実を図っていく。

▶成果と課題

1. 文化教室の受講者は高齢者が主であり、定期的に出かける場となることで孤立を防ぎ、仲間づくりにつながるのでも有効なものと考えている。一方、参加者の高齢化や固定化により新規参加者が少ないことや若者参加の掘り起こしを行い、今後もニーズを捉えた教室開催が望まれる。
2. 生涯学習を通じて自由に学習機会を選択して学ぶことができる社会の実現が求められる中、これまでの取組を継承しつつ、社会状況の変化や町民ニーズに対応すべく第3次生涯学習推進計画の策定ができた。
3. 専門知識や技能を持っている町民から講師登録してもらい、子ども教室やサークル、公民館講座などに学びのコーディネーターとして活躍できる仕組みを作り、登録者が増えるように研修を実施するなどフォロー体制も構築していく。
4. 放課後児童クラブの運営では常に定員を超える申込みがあり、現在のクラブ室では手狭なため校舎の空き教室を活用したり、支援員の増員を行い平日、長期休暇に利用者のニーズにあった運営を行っている。
5. インターネットやスマートフォンの普及により読書離れが進んでおり、子どもたちの健やかな成長には読書を推進していくことが重要で、子ども読書活動推進計画により学校・家庭における読書推進を図らなければならない。
6. 日本遺産認定を機に北前船の文化的魅力を発信する施設の整備計画がまとま

り、施設の改修工事が完了した。来年度5月のオープンに向けて管理団体を立上げガイド学習、展示企画など運営準備を行っている。

7. ネット社会の進展により、子供たちのネットいじめ、ネット依存などメディアコントロール力を高めることが課題である。家庭内でのメディアやゲーム機の決め事を話し合っって子供たちの心や行動に影響しない取組を継続していかなければならない。
7. 国の打ち出している総合戦略の中で、人口増加対策・交流人口を増やしていく政策を進めている。町の重要な観光施設である良寛記念館の魅力を上げるため、応援する組織「良寛記念館応援倶楽部てまりの会」の設立に向けて検討委員会を立ち上げ、会員募集を行い、来年度5月の総会開催後、本格的な事業活動を図っていく。
8. 伝統芸能の育成は団体に働きかけ行いながら、一方で青少年育成講座などの教室で興味を持ってもらう動機付けが必要であるので、指導できる体制づくりをめざす。
10. 町民のニーズにあったスポーツ活動の機会を町民と協働で実施していくことや現在行っている大会やイベントを一層充実していくことが重要で、そのために町民に知ってもらえるような情報発信の工夫が必要となっている。
11. 家庭教育は自制心、自立心等を育成する大切な役割を果たすため、子どもの発達段階に応じた家庭教育に関する学習機会の提供や親が家庭教育に関して気軽に相談でき、家庭・学校・地域が連携し、地域全体で子育て家庭を支援していく体制づくりが必要である。

V 学校・社会教育施設の整備充実

<p>▶ 整備の状況</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1 学校教育施設の主な整備状況 <ul style="list-style-type: none"> ○小学校外壁改修工事（児童玄関、体育館） ○小・中学校校内 LAN・電源キャビネット整備工事（GIGA スクール対応） ○小・中学校自動水栓化改修工事 2 社会教育施設の主な整備状況 <ul style="list-style-type: none"> ○中央公民館防火シャッター修繕工事 ○町家展示施設整備工事（出雲崎寄港地の町家） 3 社会体育施設の主な整備状況 <ul style="list-style-type: none"> ○町民体育館アリーナ床修繕工事 ○町民野球場トレーニングルーム照明 LED 改修工事 ○町民体育館アリーナ照明 LED 改修工事
----------------	-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

▶ 概要

本町は学校教育施設や社会教育、社会体育施設等の整備は、計画的に進めてきており、それぞれの施設の大規模改修や機器の購入などの整備は概ね完了している。本年度は安全上緊急を要する改修や機器の購入などを行った。

▶ 成果と課題

本年度は、昨年度実施した小中学校の施設の長寿命化計画に基づく計画的な老朽化対策として小学校の外壁改修を行うことにより、施設の延命化が図られた。

GIGA スクール構想の前倒しにより、1人1台端末を整備することになり、学校でのインターネット環境の整備を行い、R3年度からタブレットによる学習がスタートできる環境が整った。

コロナ感染症防止の対応に追われた1年であったが、各施設の蛇口の自動水栓化や網戸の設置は接触や換気に有効で感染拡大防止と節水に効果が出ている。

社会体育施設では、LED化により環境対策、維持管理費の軽減が図られ、今後も町民の健康増進とスポーツ振興に役立つ施設として利用率向上を図っていく。

今後とも、厳しい財政状況の中、老朽化する施設の維持管理については、年次計画を立てた中で、更新・改修・整備等を図り、長寿命化などに対応していかなければならない。

VI 学識経験者からの総合評価

元長岡市立東中学校長 佐藤忠弘

本年度は、第5次出雲崎町総合計画の最終年度にあたる。折しも、人類の生存を脅かす「新型コロナウイルス感染症」が全世界に拡大し、教育活動にも多大な影響を与えるものとなった。こうした中、求められる新たな発想と果敢なき実践力で出雲崎町教育が推進されていることに深く敬意を表したい。

教育委員会の活動においては、「総合教育会議」で、①学校でのコロナウイルス感染対策、②学びの保障の確保、③新学習指導要領への取組等、喫緊の課題にいち早く向き合い、具体的な教育施策の方向性を、行政、学校、地域、保護者が共有し進んでいる。例えば、「児童生徒、職員の感染状況別対応一覧」や「対応の流れ」等の危機管理マニュアルを作成し、理解の共有と迅速な対応を図ったことは、事後の危機管理（クライシスマネジメント）として具体的かつ実践的である。また、すべての児童生徒が一人一台の端末を有効活用できるようにする「GIGA スクール構想」を加速させたことは、今後想定されるオンライン授業への対応においても極めて有効である。今後は、感染防止やコロナ禍における人権尊重の心の育成など、事前の危機管理（リスクマネジメント）の視点に立った教育の推進や ICT 活用能力育成のための計画づくりにも一段と力を入れていただきたい。

学校教育においては、保、小、中それぞれの発達段階を踏まえた、知・徳・体の調和がとれた人格の育成を期した教育が一貫して推進されている。コロナ禍にあって、授業時数の確保や体験活動の縮減、それに伴う子どもたちの心理的影響等の課題に正対し、新学習指導要領の全面実施に向けた教育が確実に推進されている。それは、各種アンケートにおける子どもたちの意識に顕著に表れている。例えば、小、中学校とも、学校生活に充実感をもつ子どもたちの比率が高く、2年前に指摘された自己有用感低下の課題も大きく改善されていることが確かな証左と言える。なお、学びに向かう姿勢が弱いと自己分析している生徒も少なくない。学ぶ喜びと自信をもたせ、主体的学びを実現する指導の工夫を期待したい。

社会教育においては、各世代のニーズに応える多様な事業の推進に尽力している。コロナ禍にあって、特に社会体育事業を中心に中止を余儀なくされた事業も数多くあったが、実施内容や方法を工夫し地域住民のニーズに最大限応えようと努力された様子がうかがえる。また、図書館の利用人数は減少したものの貸出冊数、貸出人数ともに例年に比べ遜色ない。アフターコロナを見据えた今後の実施計画に期待したい。

子どもたちには、変化が激しく不透明な未来社会を生き抜く力をつけることが求められている。コロナ禍をとおして、今、子どもたちは「想定外」の学びを経験しているとも言える。それは「経験知」の蓄積でもあり、「多様性」や「共生」の大切さを実感をもって学ぶ機会ともなっている。これからの社会で生きる柔軟な対応力を磨く機会なのだと思えて出雲崎の教育を一層推進してほしい。

Ⅶ その他

○指導いただいた学識経験者名 (敬称略)

職 名	氏 名	備 考
元長岡市立東中学校長	佐藤 忠弘	長岡市在住 (旧三島町)

○町教育委員会関係者名簿

—教育委員— (令和3年3月31日現在)

職 名	氏 名	備 考
教育長	佐藤 亨	
委員	佐藤 正志	教育長職務代理者
委員	大磯 多華子	
委員	宮田 よしみ	
委員	松岡 聡	

—職員名簿—

職 名	氏 名	備 考
教育課長	矢島 則幸	
管理指導主事	近藤 道範	
教育課課長補佐	吉岡 育子	
教育課係長	渡辺 一敏	
教育課係長	高橋 聡	
教育課主任	小林 ひろ子	
教育課主任	山崎 健太	
教育課主事	佐藤 理絵	
教育課主事	石津 大弘	
事務職員	竹村 しのぶ	
事務職員	小川 真紀子	
用 務 員	小林 秋子	
清 掃 員	柴田 圭一	
良寛記念館 館長	永寶 卓	学芸員
同 事務職員	小黒 晴美	
同 事務職員	大久保 淳子	
同 事務職員	佐藤 佐由里	